

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度：令和7年度

施設所管課：商工振興課

1 施設の概要

施設名	唐津市ふるさと会館	所在地	唐津市新興町2881番地1
設置目的	本市及び東松浦地域における特産物及び伝統工芸産業の振興並びに地域住民の文化活動等の利用による交流の場の提供を図り、もって地域経済の活性化及び地域文化の向上に資することを目的とする。		
休館日	1月1日、奇数月第三木曜日	開館時間	午前9時から午後6時まで

2 施設の利用状況

説明	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	利用状況の傾向と増減の要因
物産展示販売場 販売客数	46,565名	46,753名	55,395名	62,881名	1月・2月を中心とした周遊キャンペーン期間で前年同月比160%超等の集客となり利用者が増加した。

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社メリーランド			
	所在地	佐賀県武雄市朝日町大字甘久1331番地			
	代表者	代表取締役 山内 茂樹			
指定期間		令和3年4月1日～令和9年3月31日			
指定管理者の業務内容		①会館の利用の許可に関する業務 ②会館の施設及び設備の維持管理に関する業務			
事業の実施状況		・屋外広場の利用許可、減免業務、駐車場使用料の収納業務を実施 ・各種自主事業を実施 ・物産展示販売場で、唐津市及び東松浦郡地域における特産物及び伝統工芸品を販売			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等		常勤の内訳	
	5名	2名		管理責任者	1名
				副責任者	1名
				フロントスタッフ	3名

4 指定業務の収支状況 ※仕様書や協定書に記載された業務

単位：円

	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
収 入	193,871,514	165,134,222	28,737,292
指定管理料	31,200,000	31,200,000	
利用料金収入 ※利用料金制の場合のみ	51,560	31,700	19,860
その他収入	162,619,954	133,902,522	28,717,432
支 出	171,221,219	155,359,423	15,861,796
人件費	31,920,647	31,796,151	124,496
施設管理費	16,321,271	18,380,387	-2,059,116
水道光熱費	5,149,342	6,163,576	-1,014,234
修繕費	482,625	806,000	-323,375
広告宣伝費	184,462	292,296	-107,834
委託料（再委託）	7,114,800	7,114,800	
保険料	262,190	362,050	-99,860
事務費	3,127,852	3,641,665	-513,813
事業費	118,446,999	99,171,399	19,275,600
その他支出	4,532,302	6,011,486	-1,479,184
収支	22,650,295	9,774,799	12,875,496
利益配分額			

5 自主事業の収支状況 ※行政サービス向上のため、自主的に行う事業

単位：円

	令和7年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
収 入	6,581,552	5,730,602	850,950
カフェコーナー売上	5,462,702	4,384,893	1,077,809
自動販売機手数料	539,350	566,259	-26,909
イベント協賛金（西側・北側）	579,500	775,450	-195,950
イベント協賛金（店内）	0	4,000	-4,000
支 出	4,334,251	3,519,470	814,781
人件費	1,083,642	1,103,412	-19,770
水道光熱費	174,809	213,892	-39,083
事務費	283,812	434,297	-150,485
仕入原価	2,791,988	1,767,869	1,024,119
収支	2,247,301	2,211,132	36,169

6 項目別評価

評 価 項 目		評価の根拠 (確認資料等)	自己 評価	市 の評価
評 価 の 視 点				
1 業務の履行状況				
(1) 運営業務（全般）				
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	月次業務報告書	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	中庭利用状況報告書、 駐車場管理報告書	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	販売状況報告書	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	酒販責任者、 食品衛生責任者、 防火管理者	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	労働条件等確認シート	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	研修等は本社一括実施のため聞き取り	A	A
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	作業日報	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	業務報告書	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	定例報告会	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	事業報告書	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	月次業務報告書	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	緊急連絡網、消防訓練	A	A
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	事業報告書 (個人情報保護規定)	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	事業報告書 (個人情報保護合意書)	適	適
(2) 維持管理業務				
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。		適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	施設管理報告書	A	A
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	施設管理報告書	A	A
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	事業報告書	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	月次業務報告書	適	適

2 サービスの質				
(1) 運営業務（利用者対応、情報発信等）				
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	月次業務報告書	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	月次業務報告書	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	月次業務報告書	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	月次業務報告書	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	月次業務報告書	A	A
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	利用者アンケート調査、事業報告書	A	A
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	利用者アンケート調査、事業報告書	A	A
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	月次業務報告書	A	A
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	ホームページ	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	プレスリリース、SNS、店頭	A	A
(2) 事業実施状況				
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	事業報告書	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	事業報告書	A	A
(3) 地域貢献				
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	事業報告書	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	事業報告書	A	A
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	事業報告書、仕入取引先一覧	A	A
3 継続性・安定性				
(1) 運営業務（経理事務、予算執行等）				
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	収支表	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	実績対比表	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	事業報告書	適	適
(2) 収支状況				
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	事業報告書	A	A
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	事業報告書 （自主事業、団体営業）	A	A
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	事業報告書	A	A

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	A	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント
	2 サービスの質	A	
	3 継続性・安定性	A	
総合評価		A	施設の目的に沿った運営や維持管理など、業務全般において関係法令及び業務仕様書等に基づき適正に履行されている。また、納入事業者と連携した販売強化の取組、自社ノウハウを生かした観光バスの誘致など事業の継続性や安定性の強化への取り組みに加え、唐津産品を使用した軽食のイートインスペースの設置やアニメを活用した周遊キャンペーンへの参加等により施設利用者へのサービスの向上へも積極的に取り組まれ成果へとつなげている。